



## 平成30年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年12月8日

上場会社名 日本ビューホテル株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6097 URL <https://www.viewhotels.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 由明  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 矢島 学 TEL 03-5828-4429 (代表)  
 四半期報告書提出予定日 平成29年12月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年4月期第2四半期の連結業績（平成29年5月1日～平成29年10月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年4月期第2四半期	10,839	5.8	448	△42.9	460	△38.3	173	△65.0
29年4月期第2四半期	10,249	5.4	785	5.7	747	8.5	494	16.3

(注) 包括利益 30年4月期第2四半期 178百万円 (△64.5%) 29年4月期第2四半期 503百万円 (18.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年4月期第2四半期	18.40	18.31
29年4月期第2四半期	51.09	50.86

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年4月期第2四半期	30,084	12,396	41.2
29年4月期	23,135	12,575	54.4

(参考) 自己資本 30年4月期第2四半期 12,396百万円 29年4月期 12,575百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年4月期	—	0.00	—	22.00	22.00
30年4月期	—	0.00			
30年4月期（予想）			—	22.00	22.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年4月期の連結業績予想（平成29年5月1日～平成30年4月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	9.0	750	△45.0	710	△45.6	240	—	25.52

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 平成30年4月期の業績予想の1株当たり当期純利益は、ストック・オプション行使分(11,600株)を含めた期中平均株式数により算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年4月期2Q	9,692,425株	29年4月期	9,680,825株
② 期末自己株式数	30年4月期2Q	297,600株	29年4月期	181,200株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年4月期2Q	9,417,370株	29年4月期2Q	9,678,129株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界経済の成長を背景に企業収益の改善が進み、雇用・所得情勢も堅調に推移するなど、緩やかな景気回復傾向がみられました。一方、個人消費の伸び悩みや人手不足、北朝鮮などの地政学的リスクの高まりなどもあり、先行きの不透明な状況が続いております。

ホテル業界におきましては、新規ホテルの開業や民泊の広がりなどによって競争環境が激化しているものの、政府の観光立国推進に向けた政策を背景に訪日外国人は引き続き増加しており、宿泊部門を中心に順調に推移しております。

このような経営環境のもと、当社グループは、第2次中期経営計画に基づき、既存事業の長期持続的な成長と事業基盤の拡大のための取組みを進めております。当第2四半期連結累計期間では、5月に札幌ビューホテル大通公園を開業したほか、浅草ビューホテルの1階ロビーフロアの全面改装工事や機械設備の更新工事を進めるなど、長期持続的な成長サイクルの構築を図るための施策に取り組んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は10,839百万円（前年同期比5.8%増）、営業利益はホテルの開業費用や大規模な設備投資費用を計上したことなどにより、448百万円（前年同期比42.9%減）となりました。経常利益は原発事故による逸失利益の補償金として56百万円を計上したことなどにより、460百万円（前年同期比38.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は特別損益で設備投資に係る固定資産除却損220百万円を計上したことなどにより、173百万円（前年同期比65.0%減）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

セグメントの 名称	売上高			セグメント利益（営業利益）			減価償却前営業利益(*)		
	前第2四 半期連結 累計期間 (百万円)	当第2四 半期連結 累計期間 (百万円)	前年 同期比 増減額 (百万円)	前第2四 半期連結 累計期間 (百万円)	当第2四 半期連結 累計期間 (百万円)	前年 同期比 増減額 (百万円)	前第2四 半期連結 累計期間 (百万円)	当第2四 半期連結 累計期間 (百万円)	前年 同期比 増減額 (百万円)
ホテル事業	8,410	9,055	645	614	267	△346	1,086	953	△133
施設運営事業	885	891	5	17	29	11	28	40	11
遊園地事業	998	940	△58	148	147	△1	196	198	2
合計	10,294	10,887	592	780	444	△336	1,312	1,192	△119
調整額	△44	△47	△3	4	4	0	4	4	0
連結数値	10,249	10,839	589	785	448	△336	1,316	1,196	△119

(\*) 減価償却前営業利益＝営業利益＋減価償却費

#### ①ホテル事業

ホテル事業では、平成29年5月に開業した札幌ビューホテル大通公園が客室部門を中心に売上に寄与し、更なる収益性向上のため、レストランの集約と新設および客室61室の増室を行いました。旗艦ホテルの浅草ビューホテルでは、7月30日から11月末までの一部レストランの休業や8月20日から9月10日の全館クローズ期間を設け、1階ロビーフロアの全面改装工事や受変電設備の更新工事などを行いました。

これらの結果、売上高は9,055百万円（前年同期比7.7%増）、営業利益は267百万円（前年同期比56.4%減）となりました。

#### ②施設運営事業

施設運営事業では、「グリーンパール那須」が改装工事のために平成29年6月の1ヶ月間を全館休業いたしました。また、「ぎょうけい館」を中心にインターネットでの宿泊プランの充実を図ったことで、客室部門が堅調に推移いたしました。また、一部レストランの営業時間の見直しを行うなど業務の効率化と経費低減を図りました。

これらの結果、売上高は891百万円（前年同期比0.7%増）、営業利益は29百万円（前年同期比66.2%増）となりました。

## ③遊園地事業

那須りんどう湖 LAKE VIEWでは、募集ツアー団体の集客が伸び悩んだほか、7月から秋にかけての天候不順による集客への大きな影響がありました。前連結会計年度の平成28年7月にオープンした「那須の恵み Me k k e! ブッフ&マルシェ」も天候不順などにより集客に苦戦いたしました。

これらの結果、売上高は940百万円（前年同期比5.8%減）、営業利益は147百万円（前年同期比0.9%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産

当第2四半期連結会計期間末における資産の合計は、30,084百万円（前連結会計年度末23,135百万円）と、6,949百万円増加いたしました。

うち流動資産は、4,669百万円（同5,005百万円）と、336百万円減少いたしました。これは、主に現金及び預金の減少によるものであります。

固定資産は、25,415百万円（同18,129百万円）と、7,285百万円増加いたしました。これは、主に浅草ビューホテルの1階改装工事による建物等の増加並びに札幌ビューホテル大通公園の賃貸借契約によるリース資産の増加および客室改装工事による建物等の増加によるものであります。

## ②負債

当第2四半期連結会計期間末における負債の合計は、17,688百万円（前連結会計年度末10,559百万円）と、7,129百万円増加いたしました。

うち流動負債は、4,961百万円（同4,386百万円）と、574百万円増加いたしました。これは、主に買掛金の減少があったものの1年以内返済予定の借入金の増加および未払金の増加によるものであります。

固定負債は、12,727百万円（同6,173百万円）と、6,554百万円増加いたしました。これは、主に札幌ビューホテル大通公園の賃貸借契約によるリース債務の増加および長期借入金の増加によるものであります。

## ③純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の合計は、12,396百万円（前連結会計年度末12,575百万円）と、179百万円減少いたしました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金の増加があったものの、剰余金の配当の支払いおよび自己株式の取得によって減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は、41.2%（前連結会計年度末比13.2ポイント減）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年8月17日の「営業外収益の計上および業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました当第2四半期連結累計期間の業績予想と本日公表の実績に差異が生じております。また、当第2四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成29年8月17日の「営業外収益の計上および業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想を本資料において修正いたしました。

これらに関する詳細につきましては、平成29年12月8日付で別途開示しております「業績予想との差異および業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,221	2,542
売掛金	854	902
貯蔵品	201	183
繰延税金資産	200	155
その他	527	885
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	5,005	4,669
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,123	12,686
機械装置及び運搬具（純額）	227	257
工具、器具及び備品（純額）	433	514
土地	5,613	5,613
建設仮勘定	392	160
リース資産（純額）	80	4,914
その他（純額）	0	0
有形固定資産合計	16,870	24,147
無形固定資産	44	47
投資その他の資産		
投資有価証券	43	56
長期貸付金	94	94
繰延税金資産	271	269
その他	902	899
貸倒引当金	△97	△98
投資その他の資産合計	1,214	1,221
固定資産合計	18,129	25,415
資産合計	23,135	30,084

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	985	537
1年内償還予定の社債	165	165
1年内返済予定の長期借入金	948	1,330
リース債務	48	348
未払金	1,204	1,886
未払法人税等	294	83
未払消費税等	160	59
賞与引当金	285	296
ポイント引当金	30	13
その他	263	241
流動負債合計	4,386	4,961
固定負債		
社債	253	170
長期借入金	5,055	6,766
リース債務	70	5,045
退職給付に係る負債	435	408
資産除去債務	47	46
長期未払金	171	149
その他	140	139
固定負債合計	6,173	12,727
負債合計	10,559	17,688
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,769	2,775
資本剰余金	1,689	1,695
利益剰余金	8,269	8,234
自己株式	△247	△408
株主資本合計	12,481	12,296
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	12
退職給付に係る調整累計額	90	86
その他の包括利益累計額合計	94	99
純資産合計	12,575	12,396
負債純資産合計	23,135	30,084

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年10月31日)
売上高	10,249	10,839
売上原価	2,504	2,512
売上総利益	7,745	8,327
販売費及び一般管理費	6,960	7,878
営業利益	785	448
営業外収益		
償却債権取立益	17	—
受取補償金	—	56
その他	40	38
営業外収益合計	57	95
営業外費用		
支払利息	38	68
株式公開費用	0	—
支払手数料	50	1
その他	6	13
営業外費用合計	95	83
経常利益	747	460
特別利益		
固定資産売却益	—	21
投資有価証券売却益	3	3
特別利益合計	3	25
特別損失		
固定資産除却損	49	220
固定資産売却損	—	0
特別損失合計	49	220
税金等調整前四半期純利益	701	265
法人税、住民税及び事業税	215	47
法人税等調整額	△8	44
法人税等合計	206	92
四半期純利益	494	173
親会社株主に帰属する四半期純利益	494	173

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年10月31日)
四半期純利益	494	173
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	8
退職給付に係る調整額	6	△3
その他の包括利益合計	8	5
四半期包括利益	503	178
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	503	178

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	701	265
減価償却費	531	747
受取利息及び受取配当金	△1	△1
支払利息	38	68
受取補償金	—	△56
投資有価証券売却損益(△は益)	△3	△3
固定資産売却損益(△は益)	—	△21
固定資産除却損	49	220
売上債権の増減額(△は増加)	107	△47
たな卸資産の増減額(△は増加)	39	17
仕入債務の増減額(△は減少)	△493	△448
その他	△274	△145
小計	694	594
利息及び配当金の受取額	1	1
利息の支払額	△38	△68
補償金の受取額	—	56
保険金の受取額	112	—
訴訟和解金の支払額	—	△31
法人税等の支払額	△169	△232
営業活動によるキャッシュ・フロー	600	320
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,182	△2,249
有形固定資産の除却による支出	△48	△183
投資有価証券の売却による収入	3	3
差入保証金の差入による支出	△660	—
その他	△60	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,947	△2,425
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	2,000	2,500
長期借入金の返済による支出	△664	△406
社債の償還による支出	△82	△82
ストックオプションの行使による収入	6	11
自己株式の取得による支出	—	△160
割賦債務の返済による支出	△45	△42
配当金の支払額	△259	△204
その他	△30	△188
財務活動によるキャッシュ・フロー	923	1,425
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△423	△679
現金及び現金同等物の期首残高	3,572	3,221
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,148	2,542

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、平成29年1月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この取得により、当第2四半期連結累計期間において自己株式が160百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が408百万円となっております。

なお、当該決議に基づく自己株式の取得につきましては、平成29年7月24日をもって終了しております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年5月1日至平成28年10月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ホテル	施設運営	遊園地	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,398	853	997	10,249	—	10,249
セグメント間の内部売上高又は振替高	11	31	0	44	△44	—
計	8,410	885	998	10,294	△44	10,249
セグメント利益	614	17	148	780	4	785

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、事業セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額は、事業セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年5月1日至平成29年10月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ホテル	施設運営	遊園地	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,042	857	939	10,839	—	10,839
セグメント間の内部売上高又は振替高	13	33	0	47	△47	—
計	9,055	891	940	10,887	△47	10,839
セグメント利益	267	29	147	444	4	448

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、事業セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額は、事業セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。